

令和7年度 学校評価のための教職員による自己評価 集計結果

- そう思う
- ▣ だいたいそう思う
- ▤ どちらかというとは思わない
- そうは思わない
- わからない

評価：◎3.5以上
○3.0以上 3.5未満
△2.5以上 3.0未満

【第1部】 第三者的視点で

1 学校運営全般		平均	評価	昨年度
1	教育目標達成に向けて計画的な教育活動を行っている。	3.57	◎	3.56
2	職員間で連携を図りながら仕事に当たる体制ができています。	3.20	○	3.39
3	各委員会は学校運営のために有効に機能している。	3.45	○	3.42
4	危機が発生した時、組織的に対応できる体制が整っている。	3.14	○	3.33
5	研修を支援する体制が整っている。	3.39	○	3.55
6	福利厚生 の立場から、職員が適宜休暇を利用できる。	3.31	○	3.34

2 教務部関係		平均	評価	昨年度
7	各学年・分掌との連絡調整を図り、円滑な学校運営に努めている。	3.45	○	3.47
8	主体的な学習態度の育成と確かな学力の定着を図るための効果的な指導方法や授業を目指す研修活動を進めている。	3.31	○	3.44
9	授業時数の確保に努めている。	3.81	◎	3.80
10	教育課程の研究を進め、改善点を検討している。	3.33	○	3.38
11	成績処理システムの円滑な運用に努めている。	3.46	○	3.50
12	スムーズな選抜業務の確立と運営に努めている。	3.65	◎	3.64
13	学校評価を受けて、学校運営上の問題点を検討している。	3.44	○	3.45
14	情報機器・視聴覚教材等は適切かつ効果的に活用されている。	3.54	◎	3.49
15	公式Webページを充実させ、地域住民への情報の提供及び公開に努めている。	3.41	○	3.38
16	緊急連絡メール配信サービスの普及・促進がなされている。	3.17	○	3.59

3 生徒指導部生徒指導関係			平均	評価	昨年度
17	安全教育を徹底し、自他の生命と健康を守る指導に努めている。		3.46	○	3.54
18	時間厳守や挨拶、気品ある服装容儀などをはじめとした、基本的な生活習慣の確立に努めている。		3.13	○	3.27
19	自治会活動や部活動等を活性化し、弘高生としての連帯感と誇りを育むとともに、学習活動との調和を図っている。		3.28	○	3.39
20	全教職員の協力を得て、弘高祭をはじめ諸行事が円滑に実施できるように努めている。		3.53	◎	3.65
21	校舎内外での巡回・安全点検を実施し、生徒の事故・怪我等の未然防止及び教育環境の保全に努めている。		3.43	○	3.48

4 生徒指導部保健相談関係			平均	評価	昨年度
22	健康診断や保健調査票等により、一人一人の健康に関する情報を把握し、適切な保健指導とおして健康の保持増進に努めている。		3.57	◎	3.56
23	ほけんだよりの発行により、一人一人の健康管理と保健衛生について啓発を図っている。		3.60	◎	3.56
24	環境衛生検査を実施し、一人一人の安全で快適な環境の保全に努めている。		3.63	◎	3.57
25	校舎内外の整備に努め、学習環境を自ら整える意識を育てている。		3.31	○	3.43
26	問題の早期発見のため実態把握に努め、教職員・保護者・学校医（精神科）・スクールカウンセラーと連携し個々の生徒に応じたきめ細かい支援を行っている。		3.51	◎	3.53
27	構成的グループエンカウンター等の実施により、生徒のコミュニケーション能力の育成を図るとともに問題の発生予防に努めている。		3.48	○	3.49
28	Q-Uの実施により学級集団の理解を深めるとともに、支援を要する生徒をデータにより把握することで不登校の発生防止に努めている。		3.16	○	3.29

5 進路指導部関係			平均	評価	昨年度
29	学習状況調査、進路志望調査等を通じ、学習状況や進路状況の把握と分析に努めている。		3.68	◎	3.62
30	教科指導力向上の支援（作題力向上、ICTを活用した効果的な教授法や実践への取組）を行っている。		3.38	○	3.48
31	情報の共有と提供、事務処理、集金などの効率化を行っている。		3.48	○	3.63
32	新課程入試（初年度）の情報収集と提供をしている。		3.39	○	3.57
33	最難関大や難関大、医学部への指導方法の研究、分析をしている。		3.57	◎	3.50

6 渉外部関係			平均	評価	昨年度
34	P T A 予算及び決算を周知し、適正な事業計画の運営に努めている。		3.63	◎	3.67
35	P T A 活動に関する各種研修会や大会への参加を積極的に呼びかけている。		3.36	○	3.51
36	同窓会活動の活性化に努め、各組織との連携や様々な情報の提供などを行っている。		3.52	◎	3.59
37	周年事業に関する業務を円滑に行っている。		3.53	◎	3.55
38	奨学会事業の内容を必要に応じて見直し、事業の活性化を図っている。		3.56	◎	3.57
39	北斗館食堂の営業日や営業時間は適当である。		3.69	◎	3.67

7 図書部関係			平均	評価	昨年度
40	利用者が落ち着いて利用できるように、図書館の開館時間や利用時間を工夫し、環境を整備している。		3.69	◎	3.74
41	各種コンクールの実施やビブリオバトル、図書館だよりの発行により、生徒の読書への興味を喚起し、豊かな人間性を育むことに努めている。		3.51	◎	3.57
42	生徒の進路研究に役立つ図書の実践に努めている。		3.52	◎	3.45
43	生徒の諸研修・活動等を通して図書委員会の活性化に努めている。		3.42	○	3.43
44	コンピュータを活用して貸出業務や図書管理を適切に行っている。		3.59	◎	3.61
45	総合的な探究の時間を核とした探究的な学習への取組支援を行っている。		3.58	◎	3.67

8 事務部関係			平均	評価	昨年度
46	学校の顔として、職員、生徒、来客に親切丁寧に対応している。		3.67	◎	3.73
47	予算の適正執行と施設・設備の維持管理に努め、教育環境を整備している。		3.69	◎	3.72
48	業務の的確な処理と正確さを期すとともに、適切な指導と情報提供を行っている。		3.67	◎	3.70
49	教職員相互の連携を密にし、情報を共有して適切に業務を遂行している。		3.59	◎	3.65

9-a 1学年			平均	評価	昨年度
50	家庭学習に取り組む生活リズムを確立させ、基礎学力の定着に努めている。		3.45	○	3.34
51	弘高生にふさわしい品格ある言動・行動を身に付けさせ、生活習慣の確立を図っている。		3.21	○	3.37
52	効果的な進路指導の実施に努め、進路目標を早期に設定させている。		3.43	○	3.39
53	学年通信やPTAの運営を工夫し保護者との連携を図っている。		3.46	○	3.46

9-b 2学年			平均	評価	昨年度
54	挨拶の励行や時間の厳守、服装容儀指導を通じて基本的な生活習慣の確立に努めている。		3.21	○	3.37
55	授業の完全理解と家庭学習時間の確保に努め、自主的な学習習慣の確立を図っている。		3.35	○	3.55
56	HR活動などの特別活動を通して、豊かな人間性と社会性を養っている。		3.43	○	3.49
57	面談、進路講演会及び学年集会を通じて、個々の資質や適性に鑑み、進路意識の向上を図っている。		3.52	◎	3.63

9-c 3学年			平均	評価	昨年度
58	思いやりのある心と良好な人間関係の構築に努め、社会性の確立を図っている。		3.34	○	3.19
59	HR活動などの特別活動を通して、豊かな人間性と社会性を養っている。		3.37	○	3.24
60	授業の完全理解と家庭学習時間の確保に努め、自主的に学習しようとする意識の向上を図っている。		3.49	○	3.43
61	自己の可能性を探り、第一志望の進路達成に向けた取り組みを行っている。		3.54	◎	3.39

【第2部】自己評価として

1 学年関係（HR担任のみ）

		平均	評価	昨年度	
62	HR教室の清掃・物品の整理整頓をしっかりとしている。		3.38	○	3.60
63	諸行事やHR活動を効果的に活用している。		3.80	◎	3.67
64	適切な学習指導・進路指導を行っている。		3.47	○	3.60
65	生徒・保護者との面談を通して、生徒の生活実態を把握している。		3.67	◎	3.53
66	生徒の基本的な生活習慣の確立のための指導を行っている。		3.60	◎	3.47
67	家庭との連携を密にしている。		3.57	◎	3.47

2 教科指導関係（全員）

		平均	評価	昨年度	
68	「教科努力目標及び具体策」を達成した。		3.39	○	3.40
69	生徒に年間の授業の概略を示し、学習の指針を与えている。		3.71	◎	3.69
70	生徒の活動・発言・発問を授業に取り入れるなど工夫をしている。		3.58	◎	3.62
71	生徒の理解度を把握し、それに応じた個別指導をしている。		3.29	○	3.33
72	定期テストの範囲、内容(難易度、解答方法)、時間(分量)を十分検討して出題している。		3.79	◎	3.71
73	各教科・科目の評価規準に基づき、適正に評価している。		3.68	◎	3.63
74	教科担当者間の連携を密にしている。		3.76	◎	3.74
75	自分自身で教科に関する研修を行い、指導に生かしている。		3.50	◎	3.60
76	教科内研修を行い、教科指導力を向上させている。		3.24	○	3.33

3 部活動関係（全員）			平均	評価	昨年度
77	部員の心身や生活の状況を把握し、多面的な指導をしている。		3.43	○	3.16
78	活動場所を点検し活動状況を把握するなど安全面に配慮している。		3.50	◎	3.45
79	活動場所は清掃を行い整頓されている。		3.28	○	3.30
80	学習と部活動の両立に配慮している。		3.61	◎	3.55
81	家庭の出費が必要以上に大きくならないよう配慮している。		3.62	◎	3.59

4 いじめ防止対策関係（全員）			平均	評価	昨年度
82	いじめ防止基本方針は適切である。		3.79	◎	3.67
83	いじめ防止基本方針に沿った取り組みがなされている。		3.71	◎	3.64
84	いじめの未然防止の取り組みがなされている。		3.60	◎	3.58
85	いじめの早期発見の取り組みがなされている。		3.60	◎	3.61
86	いじめへの対処が十分なされている。		3.55	◎	3.60

5 校務改善関係（全員）			平均	評価	昨年度
87	心身ともに健康でゆとりを持って働くことができている。		3.02	○	3.02
88	時間外在校等時間が月45時間を超えないようにしている。		2.84	△	2.89
89	時間外在校等時間が月80時間を超えないようにしている。		3.36	○	3.46
90	校務の質的改善及び量的平準化により、やりがいを持って働くことができている。		3.14	○	3.33